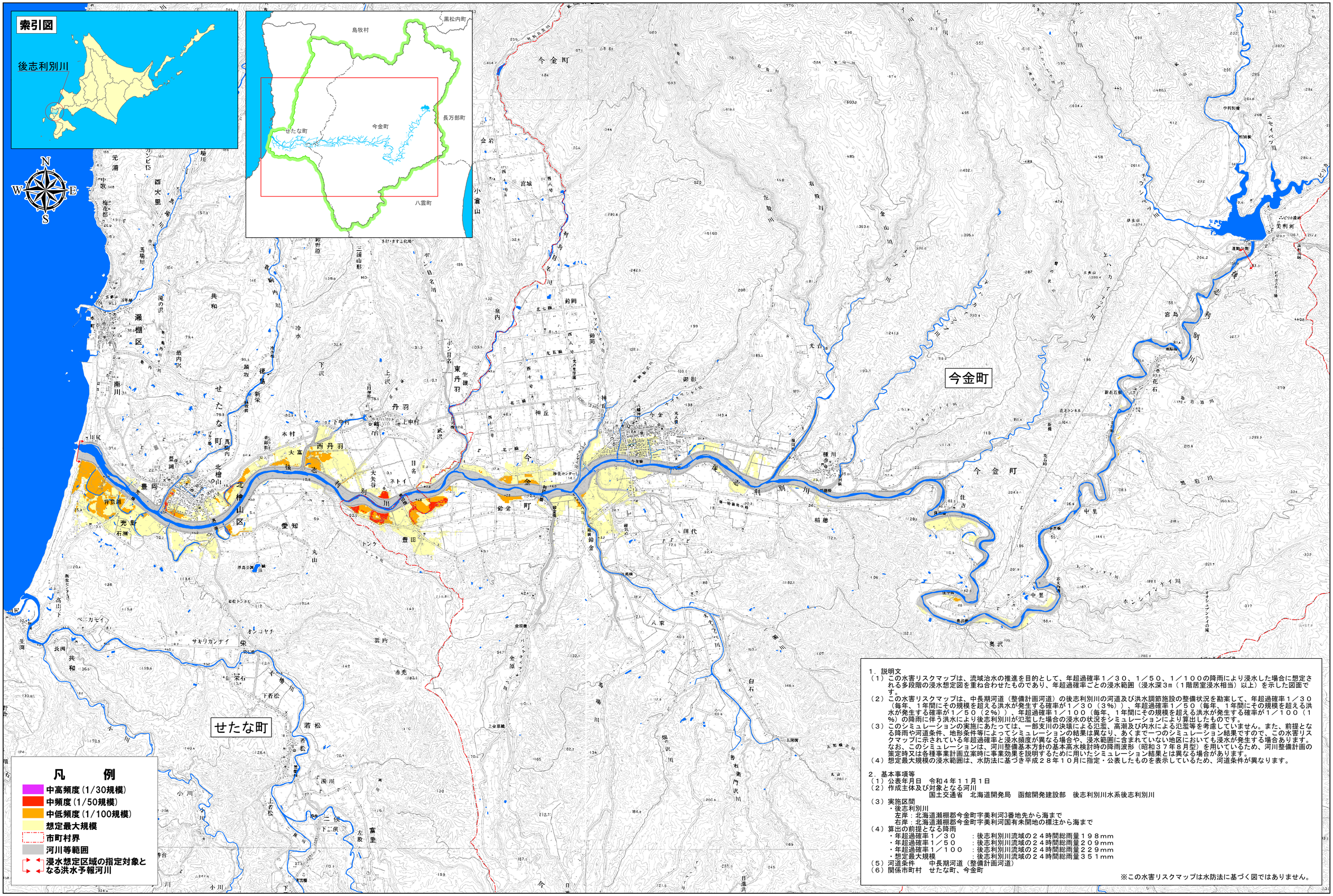
後志利別川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【中長期河道】

浸水深３ｍ（１階居室浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



１．説明文

（１）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／３０、１／５０、１／１００の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深３ｍ（１階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

（２）この水害リスクマップは、中長期河道（整備計画河道）の後志利別川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））、年超過確率１／５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／５０（２%））、年超過確率１／１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１００（１%）の降雨に伴う洪水により後志利別川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、一部支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。
なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和３７年９月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成２８年１０月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年１１月１日

（２）作成主体及び対象となる河川
国土交通省　北海道開発局　函館開発建設部　後志利別川水系後志利別川

（３）実施区間
・後志利別川
左岸：北海道瀬棚郡今金町字美利河3番地先から海まで
右岸：北海道瀬棚郡今金町字美利河国有未開地の標注から海まで

（４）算出の前提となる降雨
・年超過確率１／３０　：後志利別川流域の２４時間総雨量１９８mm
・年超過確率１／５０　：後志利別川流域の２４時間総雨量２０９mm
・年超過確率１／１００　：後志利別川流域の２４時間総雨量２２９mm
・想定最大規模　：後志利別川流域の２４時間総雨量３５１mm

（５）河道条件　中長期河道（整備計画河道）

（６）関係市町村　せたな町、今金町

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 3JHf 545」
「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」